

ビデオ審査撮影要領

サンプル画像を抽出しました。撮影にあたってはこの画像の範囲及び間合いを基準にしてください。(足先からの全体が写っていること)

道場が狭い場合(三人立など)は落ちの位置を使用するなどしてこの画像にできるだけ近づけた画像にしてください。

- ※ 過去2回の映像ではアップの撮影で腰から下がうつっていないものや残心の両手が切れているもの、足先が写らず、足踏みが確認できない画像がありました。そのようなことが絶対にないように注意してください。
審査員によるより正確な判定に影響があります。

- サンプル画像(全弓連のサンプル画像の抽出画像)
(<https://photos.app.goo.gl/6aro41MnKBjcgmA6>)を参照

顧問は受審番号、氏名を発声して進める

- 1 一番立は、本座に跪坐して揖をし、射位に進みます。



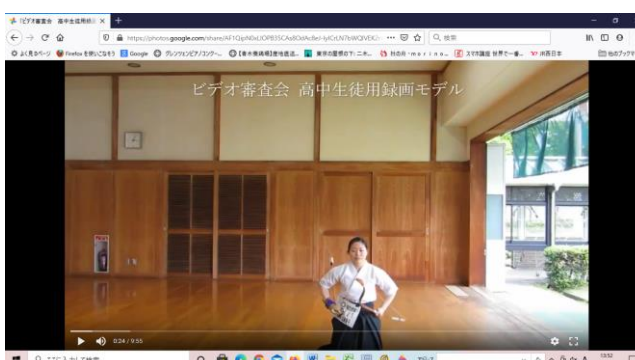
注意点

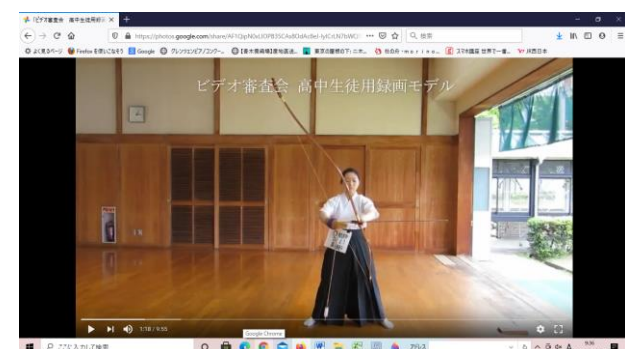
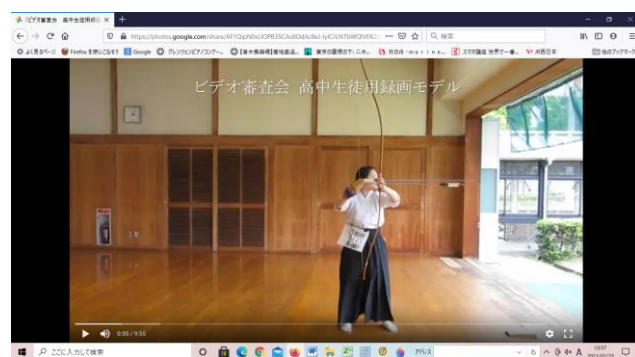
弓道教本に即した執弓の姿勢をとること

- ・両拳はしっかりと腰骨につける
- ・末弭は体の全面中央で床上10cmの位置に保持する



射位で向きを変える時の末弭は目の高さ

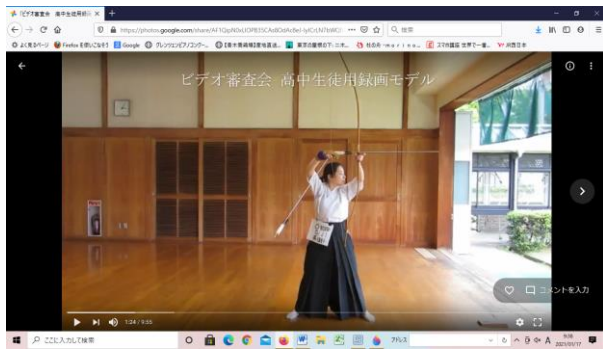




女性の足幅が一般的に狭く、つま先が広い

足踏みは、両足先を的の中心と一直線上に踏み開く動作
足の角度は 60° 、両足先の間隔はおよそ自己の矢尺とする

本弭は、矢番えをして膝頭に置いたら打起し
まで膝から離さないこと



引き分けで先手がおくれる。
打起しから大三に移行し、引き分けで先手が
遅れないよう、水平に引き分ける練習をすること



2 次の立は、甲矢の弦音で本座に進む





3 次の立は、前の立の跪坐に合わせて
本座に跪坐する



4 次の立は、前の乙矢の弦音で揖をして
立つ

顧問は受審番号、氏名を発声して進める

5 前の立の退場に合わせて射位に進む
※三番以降も同じ要領

